

# 茅膏新聞

9月24日、厚真町で帯広ボランティア活動を行った。ボランティア活動日。胆振東部地震から約一ヶ月が経とうとしている厚真町では「まだ土砂崩れ、通行止め、液状化、ゴミが多いなどまだ日常生活が困難な状況だった」といふ。帯広北高校のボランティア部と信太さんの活動内容は、椅子の整頓や災害ゴミの分別などだった。信太さんは「ゴミの分別の時、集積所からトロフィーや写真などの思い出の品が出てきた。それを見て、とても悲しくなつた」と思いを述べた。このようすにまだまだ常生活が厳しい状態だが、「厚真町の人々や、それを助けるボランティアの人々の姿は、復興に向けて一人一人が頑張つて前向きだった」とのことだ。

吹奏楽部  
定演

を迎えた生徒もいた」よう  
で被災地の苦労ぶりが  
伺えた。

最後に井高生は地震  
以降、どのような備えを  
しているかについて、生  
徒からは「全ての懐中電  
灯の電池を取り替えた」、「  
食料や水の調達や、あ  
る程度の必要な物をバッ  
クに入れておく」などの  
声があつた。

また、阿部弘昭先生は  
「背の高い家具は突っ張  
り棒で支え、テレビの下  
をゲルの接着材で支えて  
いる。懐中電灯やお菓子  
はあるが、電気式ではな  
いストーブはまだ表に出  
していない」とのこと。  
少なくとも從来より  
は災害への意識が高まつ  
てと言える。(高少)

期演奏会は幕を閉じた。  
10月28日に特別演奏会が帯広市民文化ホールにて開催され、3年生は完全に引退となる。(森)

再刊303号  
北海道芽室高等学校  
新聞局  
河西郡芽室町東めむろ  
1条北1丁目6  
発行責任者  
鈴木 菜々美



2年A組の井上希です。10月2日生まれのA型で、趣味はK·P·O·Pを聴くことです。部活はバドミントン部です。

私の今年の漢字は、「樂」。理由は見学旅行など、楽しい行事があるから。将来は、パート関係の仕事に就きたいです。

10月14日に第34回芽高吹奏楽部の定期演奏会が、芽室中央公民館で行われた。第1部はコンクール曲、第2部パライレーツ・オブ・カリビアンやリトルマーメイドなど、

